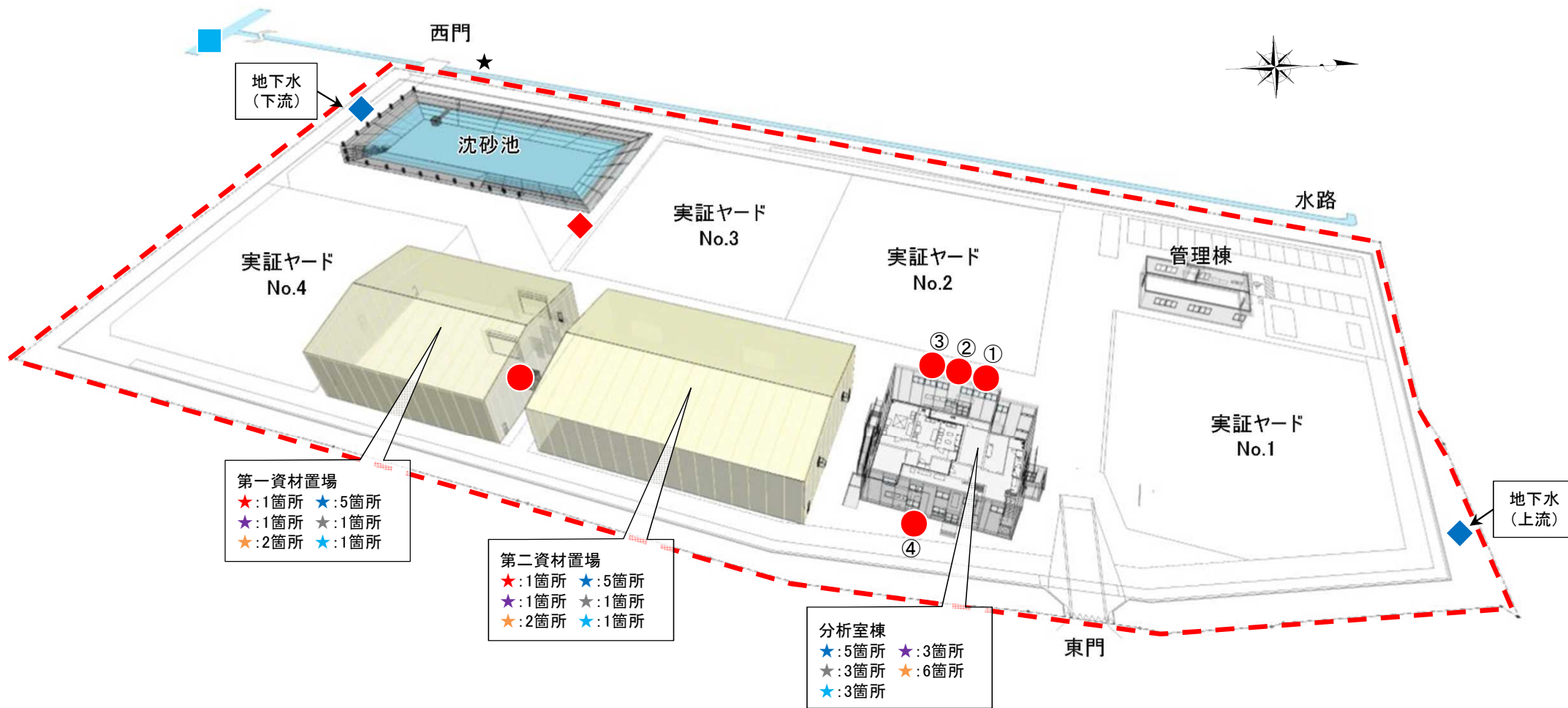


# 技術実証フィールドにおける周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)

技術実証フィールドは、除去土壌等の減容・再生利用や最終処分を効率的に進めていくための技術開発を行うことを目的とした施設です。ここでは、中間貯蔵施設エリア内に位置するという立地環境を生かし、中間貯蔵施設に運び込まれた除去土壌等を用いて、調査研究を行うことができます。



☆:施設の位置

## 【凡例】

- ◆: 地下水中の放射能濃度等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(壁)
- : 排気中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)
- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- : 敷地境界線



# 技術実証フィールドにおける周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年6月

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2020/6/4 (稼働後)		20
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2020/6/4 (稼働後)		16

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2020/6/4 (稼働後)		7.6
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2020/6/4 (稼働後)		11

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND
	2020/6/4 (稼働後)		ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND
	2020/6/4 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		測定対象	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2020/6/8 (稼働後)		ND
		ドレン部	2020/6/8 (稼働後)		ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2020/6/8 (稼働後)		ND
		ドレン部	2020/6/8 (稼働後)		ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2020/6/8 (稼働後)		ND
		ドレン部	2020/6/8 (稼働後)		ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2020/6/8 (稼働後)		ND
		ドレン部	2020/6/8 (稼働後)		ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2020/6/8 (稼働後)		ND
		ドレン部	2020/6/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: ろ紙部: 0.4 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部: 1.9 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2020/6/23	7.2	3.5	11	5.6

pH基準: 5.8~8.6, COD基準: 90mg/L

BOD基準: 30mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値			
2020/6/1 ~ 2020/6/30	5	0.1	0.1	ND	ND	30.5

濁度管理値: 5以下

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2020/6/23	1.6

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

浮遊物質量 (SS) の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2020/6/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
第一資材置場	2020/6/8 (稼働後)		ND
第二資材置場	2020/6/8 (稼働後)		0.2

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点		測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2020/6/8 (稼働後)		0.66
	西	2020/6/8 (稼働後)		0.34
	南	2020/6/8 (稼働後)		0.51
	北	2020/6/8 (稼働後)		0.27
	中央	2020/6/8 (稼働後)		0.39
第二資材置場	東	2020/6/8 (稼働後)		0.40
	西	2020/6/8 (稼働後)		0.29
	南	2020/6/8 (稼働後)		0.58
	北	2020/6/8 (稼働後)		0.36
	中央	2020/6/8 (稼働後)		0.32
分析室棟	一般分析第一前処理室	2020/6/8 (稼働後)		0.11
	固体試料第二前処理室	2020/6/8 (稼働後)		0.15
	放射能濃度測定室	2020/6/8 (稼働後)		0.17
	防護具脱衣室	2020/6/8 (稼働後)		0.11
	廊下1	2020/6/8 (稼働後)		0.12

## ★空気中の放射能濃度

測定地点		測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
第一資材置場		2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
		2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場		2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
		2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
	固体試料第一前処理室	2020/6/8 (稼働後)		ND	ND
	固体試料第二前処理室	2020/6/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-8</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 4.9 × 10<sup>-8</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点			測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
第一資材置場	壁	中央	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		東	2020/6/8 (稼働後)		ND	
	設備	集じん機	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		2020/6/8 (稼働後)		ND		
第二資材置場	壁	中央	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		東	2020/6/8 (稼働後)		ND	
	設備	西	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		操作盤	2020/6/8 (稼働後)		ND	
	分析室棟	一般分析第一前処理室	床	2020/6/8 (稼働後)		ND
			壁	東	2020/6/8 (稼働後)	
分析室棟	固体試料第一前処理室	壁	西	2020/6/8 (稼働後)		ND
		設備	集じん機	2020/6/8 (稼働後)		ND
	固体試料第二前処理室	床	中央	2020/6/8 (稼働後)		ND
		壁	東	2020/6/8 (稼働後)		ND
	設備	西	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		集じん機	2020/6/8 (稼働後)		ND	
	設備	東	2020/6/8 (稼働後)		ND	
		西	2020/6/8 (稼働後)		ND	
	設備	集じん機	2020/6/8 (稼働後)		ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.24 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 技術実証フィールドにおける周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年5月

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2020/5/7	(稼働後)	19
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2020/5/7	(稼働後)	15

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2020/5/7	(稼働後)	8.5
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2020/5/7	(稼働後)	9.7

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND
	2020/5/7	(稼働後)	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND
	2020/5/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		測定対象	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2020/5/20	(稼働後)	ND
		ドレン部	2020/5/20	(稼働後)	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2020/5/20	(稼働後)	ND
		ドレン部	2020/5/20	(稼働後)	ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2020/5/20	(稼働後)	ND
		ドレン部	2020/5/20	(稼働後)	ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2020/5/20	(稼働後)	ND
		ドレン部	2020/5/20	(稼働後)	ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2020/5/20	(稼働後)	ND
		ドレン部	2020/5/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: ろ紙部: 0.3 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部: 1.6 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2020/5/21	7.7	3.4	12	8.4

pH基準: 5.8~8.6, COD基準: 90mg/L

BOD基準: 30mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値			
2020/5/11 ~ 2020/5/26	5	0.1	0.5	ND	ND	33.7

濁度管理値: 5以下

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2020/5/21	ND

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

浮遊物質量 (SS) の報告下限値: 2mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2020/5/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
第一資材置場	2020/5/20	(稼働後)	0.1
第二資材置場	2020/5/20	(稼働後)	0.1

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点		測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2020/5/20	(稼働後)	0.55
	西	2020/5/20	(稼働後)	0.28
	南	2020/5/20	(稼働後)	0.45
	北	2020/5/20	(稼働後)	0.20
	中央	2020/5/20	(稼働後)	0.32
第二資材置場	東	2020/5/20	(稼働後)	0.33
	西	2020/5/20	(稼働後)	0.25
	南	2020/5/20	(稼働後)	0.49
	北	2020/5/20	(稼働後)	0.26
	中央	2020/5/20	(稼働後)	0.28
分析室棟	一般分析第一前処理室	2020/5/20	(稼働後)	0.12
	固体試料第二前処理室	2020/5/20	(稼働後)	0.14
	放射能濃度測定室	2020/5/20	(稼働後)	0.15
	防護具脱衣室	2020/5/20	(稼働後)	0.11
	廊下1	2020/5/20	(稼働後)	0.11

## ★空気中の放射能濃度

測定地点		測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
第一資材置場		2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
		2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場		2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
		2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2020/5/20	(稼働後)	ND	ND
	2020/5/20	(稼働後)	ND	ND	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-6</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 4.9 × 10<sup>-6</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点			測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )		
第一資材置場	壁	中央	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		東	2020/5/20	(稼働後)	ND		
	設備	集じん機	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		2020/5/20	(稼働後)	ND			
第二資材置場	壁	中央	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		東	2020/5/20	(稼働後)	ND		
	設備	集じん機	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		操作盤	2020/5/20	(稼働後)	ND		
	分析室棟	一般分析第一前処理室	床	2020/5/20	(稼働後)	ND	
			壁	東	2020/5/20	(稼働後)	ND
			西	2020/5/20	(稼働後)	ND	
			設備	集じん機	2020/5/20	(稼働後)	ND
固体試料第一前処理室		床	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		壁	東	2020/5/20	(稼働後)	ND	
		西	2020/5/20	(稼働後)	ND		
		設備	集じん機	2020/5/20	(稼働後)	ND	
固体試料第二前処理室	床	2020/5/20	(稼働後)	ND			
	壁	東	2020/5/20	(稼働後)	ND		
	西	2020/5/20	(稼働後)	ND			
	設備	集じん機	2020/5/20	(稼働後)	ND		

表面汚染密度検出下限値: 0.24 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 技術実証フィールドにおける周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年4月

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/5 (稼働前)		27
	2020/4/2 (稼働後)		20
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2020/4/2 (稼働後)		11

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/5 (稼働前)		8.0
	2020/4/2 (稼働後)		7.8
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2020/4/2 (稼働後)		8.0

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
上流	2019/9/5 (稼働前)		ND
	2020/4/2 (稼働後)		ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND
	2020/4/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
		測定日		
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2020/4/24 (稼働後)	ND
		ドレン部	2020/4/24 (稼働後)	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2020/4/24 (稼働後)	ND
		ドレン部	2020/4/24 (稼働後)	ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2020/4/24 (稼働後)	ND
		ドレン部	2020/4/24 (稼働後)	ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2020/4/24 (稼働後)	ND
		ドレン部	2020/4/24 (稼働後)	ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2020/4/24 (稼働後)	ND
		ドレン部	2020/4/24 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: ろ紙部: 0.2 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部: 1.1 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/4/20		7.9	14.5	11	5.4

pH基準: 5.8~8.6、COD基準: 90mg/L

BOD基準: 30mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値			
2020/4/17 ~2020/4/30	3	0.1	2.1	ND	ND	16.6

濁度管理値: 5以下

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	
2020/4/2		34

SS基準: 50mg/L (福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均)

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2020/4/2 (稼働後)		ND	3.9

放射能濃度検出下限値: 1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
第一資材置場	2020/4/24 (稼働後)		ND
第二資材置場	2020/4/24 (稼働後)		0.5

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2020/4/24 (稼働後)	東		0.62
		西		0.29
		南		0.47
		北		0.21
		中央		0.36
第二資材置場	2020/4/24 (稼働後)	東		0.37
		西		0.27
		南		0.40
		北		0.27
		中央		0.30
分析室棟	2020/4/24 (稼働後)	一般分析第一前処理室		0.09
		固体試料第二前処理室		0.14
		放射能濃度測定室		0.16
		防護具脱衣室		0.12
		廊下1		0.12

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
第一資材置場	2020/4/24 (稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2020/4/24 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	2020/4/24 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND
		固体試料第一前処理室	ND
		固体試料第二前処理室	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-8</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 5.2 × 10<sup>-8</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-2</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	測定日	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
第一資材置場	2020/4/24 (稼働後)	床	中央	ND
			東	ND
		壁	西	ND
			集じん機	ND
第二資材置場	2020/4/24 (稼働後)	床	中央	ND
			東	ND
		壁	西	ND
			操作盤	ND
分析室棟	2020/4/24 (稼働後)	一般分析第一前処理室	床 中央	ND
			壁 東	ND
		設備	集じん機	ND
			固体試料第一前処理室	床 中央
		壁	東	ND
			西	ND
	2020/4/24 (稼働後)	設備	集じん機	ND
			固体試料第二前処理室	床 中央
		壁	東	ND
			西	ND
		設備	集じん機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.03 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>